

総合病院国保旭中央病院で診療を受けられる患者さんへ

総合病院国保旭中央病院では、以下の研究を実施しております。

研究の対象になる可能性がある患者さんで、診療情報が研究目的で利用されることを望まれない方は、下記のお問い合わせ先にご連絡下さい。

1. 研究課題名

移植適応多発性骨髄腫患者における初回採取レジメンによる自家末梢血幹細胞採取不良例の多施設共同後方視的研究

2. 研究の対象患者

2008年4月1日から2018年9月30日までに自家末梢血幹細胞移植が適用と考えられ、初回自家末梢血幹細胞採取を施行された多発性骨髄腫症例

3. 研究の対象期間

2008年4月1日～2018年9月30日

4. 研究の概要

移植適応多発性骨髄腫患者において、初回採取レジメンによる自家末梢血幹細胞採取不良例を後方視的に解析することで、その治療成績、特徴、問題点について明らかにすることを目的とする。

5. 研究実施予定期間

2019年5月22日～2022年12月31日

6. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：生年月、年齢、性、体重、M蛋白型、Durie&Salmon病期、国際病期分類(ISS)、染色体・遺伝子異常、治療レジメン、採取前・移植前後の治療効果判定(sCR, CR, VGPR, PR, SD, PD)、採取レジメン、アフレーシス施行回数、CD34陽性細胞数、地固め・維持療法、診断日、採取日、移植日、生着日、再発日、最終生存確認日、死亡日

7. 外部への試料・情報の提供

本研究において、対象者の氏名など個人を同定可能な情報は調査票には含まれておらず、また送付元では個人識別番号を付し匿名化を施した上で研究代表者に送付される。記入済の調査票やデータベースは、本研究に係る研究者以外アクセスできないよう管理する。

8. 研究組織

日本骨髄腫学会各施設

9. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保証に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

(連絡先) 地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院

・研究責任者：血液内科 田中 宏明

・臨床研究支援センター

電話：0479-63-8111(代)

(研究代表者)

千葉大学医学部附属病院 血液内科 塚田恵美子

電話：043-222-7171(代)